

平成 **15** 年度~平成 **17** 年度





















A10/1 Et

◆担仕一覧 は主仕								
学級	第1	学年	第2学年		第3学年			
1組	入江	史郎	山本	孝幸	山本	孝幸		
2組	鶴川	正徳	藤基	佳子	上倉	佳代*1		
3組	山本	孝幸	入江	史郎	藤基	佳子		
4組	川瀬	治彦	小西	賢次	小西	賢次		
5組	小西	賢次	川瀬	治彦	田中	豊彦		
6組	藤基	佳子	鶴川	正徳	川瀬	治彦		

*1 旧姓:田尻

卒業記念品

・ワンタッチ イベントテント 2張



22期

平成 16 年度~平成 18 年度

















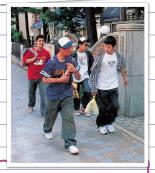














卒業記念品

・集合用テント2張



◆担任一覧 は主任

学級	第1学年	第2学年	第3学年	
1組	鈴木 一也	川端 裕子	堀江 幸雄	
2組	斎藤 雅史	藤村 千明	鈴木 一也	
3組	川端 裕子	鈴木 一也	川端 裕子	
4組	伊藤 研二	伊藤 研二	中島 圭章	
5組	都築 義子	都築 義子	伊藤 研二	
6組	藤村 千明	堀江 幸雄	藤村 千明	
7組	堀江 幸雄			

6000000000000000000



平成 17 年度~平成 19 年度







砂川高校での思い出

現りんくう翔南高校教諭 加藤 みちよ

平成 16 年、岸和田養護学校(現岸和田支援学校)より砂川高校に赴任しました。全く体制の違う養護学校から5年ぶ



りに普通科高校へ転勤するのは正直とても不安でした。しかし、 生徒達は大変元気で行動力もあり、不安がっている暇などない うちに1年が過ぎました。

そして、2年目から23期生の担任をすることになりました。この年から制服も新しいデザインになり、例年以上に新鮮な気持ちで学年がスタートしました。それから3年、山あり谷ありの日々でしたが、その中で私にとっての一番の思い出は、文化祭での「垂れ幕事件」です。文化祭間際の金曜日の夕方、美しく出来上がった「垂れ幕」を私の判断で生乾きのまま屋外に設置してしまいました。ところが翌日はまさかの大雨。月曜日の朝、わがクラスの「垂れ幕」は、ペンキが流れ落ち見るも無惨な姿に変わり果てていました。私は顔面蒼白、生徒達は無言。数分後、制作メンバーの「先生、なんとかなるよ。」のひと言に励まされ、修復作業が始まりました。余ったペンキをくれたクラスの生徒が「いける。手伝うよ。」と声をかけてくれました。その甲斐あって何とか1日で見事に復元することができました。おまけに賞まで頂きました。本当に困難な状況になった時、文句も言わず協力して底力を発揮できる砂校生に今も感謝しています。

最終学年では後藤先生が鬼籍に入られるという悲しい出来事もありましたが、無事に卒業式を迎えることができました。答辞の一節「いろいろな出会いを生んでくれた砂川高校に感謝。砂川高校に来て本当によかった。ありがとう砂川高校。」は私の気持ちとも重なります。

5年間、本当にありがとうございました。

◆扣仟一覧 は主任

▼ 1=12 %									
学級	第1学年 井上弥一郎		第2学年		第3学年				
1組			吉村	満美*1	加藤み	みちよ			
2組	菊澤	典子	近藤	公乗	近藤	公乗			
3組	村田	悟	加藤み	りちよ	前岡	睦美			
4組	前岡	睦美	井上弥	尔一郎	山本	和男			
5組	近藤	公乗	貴志	真一	前川	恭			
6組	吉村	満美**1	前岡	睦美	貴志	真一			
7組	加藤みちよ								

6000000000000000000

*1旧姓:山田

卒業記念品

・ポータブルCDアンフ ・ワイヤレスマイク





24

平成 18 年度~平成 20 年度











▼担1:	士一覧		は王仕			
学級	第1学年		第2学年		第3学年	
1組	小熊	利夫	増山	敬一	野間	健二
2組	大田	伸之	野間	健二	大田	伸之
3組	野間	健二	池上刀	5由美	池上乃	5由美
4組	宮崎	貞明	大田	伸之	辻	智子
5組	池上万	前由美	小熊	利夫	小熊	利夫
6組	増山	敬一	辻	智子	藤村	千明
7組	辻	智子				

砂川高校時代を振り返って

現日根野高校教諭 野 間 健 二

青天の霹靂というわけではないにし ろ、3年前に統廃合が決定し、24期生 は、全学年が揃う最後の学年となりまし



た。24期生の1年でのスタートは、中堅の意欲あふれる先生、 ベテランの頼もしい先生、それとフレッシュな初担任の先生2 名という多彩な顔ぶれでしたが、校務分掌の関係で担任を外れ る先生以外は、全員が3年間学年を持ち上がるという、生徒 のみならず学年主任としてもとても幸せな学年でした。23期 生の留年生19名を加え259名でスタートした学年でしたが、 生徒は全員卒業というわけにはいかず、約40名は留年、退学、 転学などでこの学年から去りました。その何人かを思い出しな がら今これを書いています。成績不振で留年、退学をした生徒、 問題行動を繰り返し、日々の指導に砂を噛むような思いをさせ てくれた生徒、今はどんな目標を持ち、日々を送っているので しょうか。学校や先生に対していいこともあったなと高校時代 を振り返ることがあるなら、共有した時間も無駄ではなかった と思います。勿論、卒業までこぎ付けた生徒の中にも印象深い 生徒もいました。度々の指導を繰り返しながら何とか卒業を果 たした生徒、欠課時数ぎりぎりで追認指導により何とか卒業を 果たした生徒など、振り返るとあの時こうすれば良かったああ すれば良かったと反省をしつつ思い出しています。卒業できな かった生徒、卒業を果たした生徒、そして他校へ転勤した先生 にとっても、砂川高校は、もう心の中でしか存在しなくなりま すが、確かに共に生きた証がそこにあったと実感できればそれ は素晴らしいことではないでしょうか。過去の積み重ねで今が あると思います。時々は砂川高校の事を思い出しつつ、それぞ れの今を精一杯生きていきましょう。またどこかで会える日を 楽しみに。

卒業記念品

・46 型液晶テレビ ・DVDレコーダー





25_期

平成 19 年度~平成 21 年度









砂川高校の思い出

現佐野高校教諭 中島 圭章

私が砂川高校に赴任したのは平成 17年の春でした。広々としていてのどかな学校だというのが最初の印象でした。そ



れから5年間お世話になったわけですが、2年目に3年の担任をやって、3年目から1年生(25期生)の学年主任になりました。1年次は初めての主任ということもあり、自分自身余裕がなく、目先の仕事に追われる毎日でした。しかし幸いにも3年間を通じてよき担任団にめぐまれ、チームワークもよく、そのかいあってか2年、3年と上がるにつれ、本当に落ち着いたいい学年に育ってくれました。2年生の冬には、北海道・富良野にスキー修学旅行に行き、普段見慣れない雪景色の中で、貴重な体験ができました。旭山動物園にも立ち寄りましたが北海道とは思えない暖かさだったのを覚えています。

25 期生は砂川高校が閉校することを知らずに入学してきました。表立って大きな不満をもらす者はいませんでしたが、生徒にとって母校がなくなるということは本当に寂しいものです。何とか閉校の記念になるものを残そうと、3 年生の時には、生徒一人一人が閉校へのメッセージを紙に書き、それを持って写真撮影をして、文化祭で「I♡砂川写真展」として発表しました。何よりうれしかったのは卒業を間近にひかえた生徒たちの多くが「砂川は楽しかった。」「砂川高校を選んでよかった。」といってくれたことでした。母校はなくなっても、砂川での思い出とそこで得た友人を一生大切にしてほしいと思います。自分にとっても砂川での5年間はいろいろなことを学んだ忘れられない5年間となりました。

◆担任一覧 は主任

学級	第1学年		第2学年		第3学年	
1 組	中島	丰章	中島	丰章	森岡	英仁
2組	上倉	佳代*1	岩田	良	尾﨑	久美
3組	森岡	英仁	尾﨑	久美	木村に	いづみ
4組	光山	弘枝	森岡	英仁	川端	裕子
5組	阪口	和夫	光山	弘枝	鈴木	一也
6組	尾﨑	久美	上倉	佳代**1	岩田	良

*1 旧姓:田尻

中島 圭章

卒業記念品

・デジタルフォト フレーム (閉校間際なので学校に ではなく、卒業生に対し ての記念品として右の品 が贈られた)



Sunagawa High School





平成 20 年度~平成 22 年度

砂川高校の思い出

学年主任 栗林 潤一

平成 20 年 4 月、砂川高校最後の 26 期生を迎えることになりました。既に統 合することが発表され、なくなることが



わかっていながら、それでも本校を受験することを決意した生徒達を私達教職員は大きな期待をもって迎えました。最初の年は三学年が揃っており、他の高校と同じように過ごせました。が、二年生からはだんだんと人も減っていき、最後の年には当然のことながら、一学年のみ、まるで山の分校のような状態でした。教職員も全員が集まっても20名ほど、広い校舎にわずかばかりの人。閑散とした雰囲気が漂っていました。

その様子を目の当たりに、なんとかこの生徒達がこの学校の卒 業生で良かったと思えるような一年にしたいと考えたものです。

最後の三年生、「本物に触れる」ことをコンセプトに一学期末にマナー講習会としてヒルトン大阪でフルコースを堪能し、続いて劇団四季のウィキッドを鑑賞しました。みんな感動し、スタンディングオベーションが起こるほどでした。そして、あえての新競技満載の体育祭。さらに全クラスがそれぞれ工夫のお店を競い、午後からは全員が舞台に参加する文化祭など、大いに盛り上がったものです。

そうして時が流れ、当然、この文章が読まれるのは卒業の頃でしょう。残念ながらその卒業式の様子はこの文章には書けません。でも、きっと、その時、最後の卒業式は涙と感動で「本当にこの学校の卒業生でよかった」と思うと、確信をしています。

私達の学年は幸いなことに一年から三年まで、担任団が誰も 欠けることなく持ちあがりました。その分、生徒達に対しても 思い入れが強く、また生徒達もよく慕ってくれたと思います。 こんなすばらしい経験をさせていた頂いた砂川高校の思い出を 大事に持ち続けたいと思います。

最後に、この砂川高校の 26 期生にかかわったすべての人々 にこの場をお借りして感謝の気持ちを述べたいと思います。



6500060000606066

◆担任一覧は主任

学級	第1学年		第2学年		第3学年	
1組	森下	信明	三宅	悟	木下	博之
2組	木下	博之	木下	博之	畑林	萌
3組	木岡	篤子	森下	信明	三宅	悟
4組	三宅	悟	畑林	萌	森下	信明
5組	畑林	萌	木岡	篤子	木岡	篤子
6組	栗林	潤一	栗林	潤一		

栗林 潤一

卒業記念品

・デジタルフォト フレーム

(閉校間際なので学校にでは なく、卒業生に対しての記念 品として右の品が贈られた)



Sunagawa High School

























